

## 地方独立行政法人大阪市民病院機構 令和5年度決算概要

### I 令和5年度決算のトピックス

地方独立行政法人として設立10年目となる令和5年度は、総合医療センター、十三市民病院ともに、新型コロナウイルス感染症（新型コロナ）の影響により悪化した経営状況の早期回復に向け取り組んできた。

総合医療センターでは病棟改修工事のために順次1病棟を閉鎖しつつも、緩和ケア病棟の再開や救急医療・高度医療の安定的な提供に努め、高度専門医療機関としての役割を果たしてきた。十三市民病院では5月の新型コロナの5類移行までの間、新型コロナ専門病院としての役割を全うするとともに、周産期医療や地域に求められる急性期医療を提供しながら、10月には結核患者の受入を再開した。

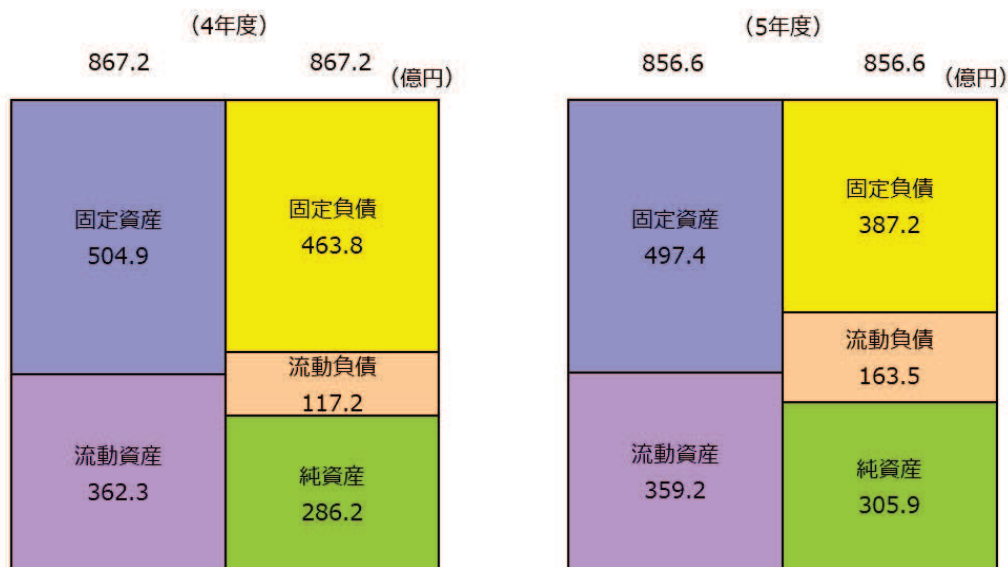
この結果、医業収益では新型コロナ患者の診療報酬の特例縮小等により診療単価が低下したものの、入院及び外来患者数の回復に伴い、令和4年度より改善した。費用面ではベースアップや働き方改革に伴う人件費の増加や、患者数の回復の影響により材料費が増加したものの、医業損益は令和4年度より改善した。純利益は、新型コロナの空床確保補助金の減により、令和4年度より大きく減少した。

今後、医業収益は診療報酬改定による単価増や患者数の回復により改善する見込みであるが、一方で人件費の上昇や物価高騰による費用の増加が見込まれ、厳しい経営状況が続くことが予想される。引き続き市民病院に求められる政策医療をはじめとする医療の提供を継続し、公的医療機関としての役割を果たしていきたい。

### II 財政状況（貸借対照表より）

- ① 資産合計は856.6億円（前年度比▲10.6億円）  
⇒ うち土地、建物、機械備品等の固定資産は497.4億円（前年度比▲7.5億円）
- ② 負債合計は550.7億円（前年度比▲30.3億円）  
⇒ うち大阪市からの長期借入金残高は210.2億円（増減なし）

#### ●貸借対照表の推移



#### ●長期借入金残高推移

	(億円)		
	4年度	5年度	増減
長期借入金	210.2	210.2	0.0
移行前分	115.9	78.5	▲ 37.4

#### ●純資産内訳

	(億円)		
	4年度	5年度	増減
資本金	1.0	1.0	0.0
資本剰余金	22.0	34.4	12.4
利益剰余金	263.2	270.5	7.3
計	286.2	305.9	19.7

### Ⅲ 経営成績（損益計算書より）

- ① 本業の売上高を示す「医業収益」は446.9億円（前年度比+22.9億円）
- ② 本業の利益を示す「営業損益」は39.6億円（前年度比▲53.0億円）
- ③ 営業損益に利息の支払い等を含めた「経常損益」は20.5億円（前年度比▲55.8億円）
- ④ 最終的な利益を示す「当期総損益」は19.7億円（前年度比▲55.5億円）

#### ●主な項目の推移

(億円)

	4年度	5年度	増減
入院収益	292.9	307.9	15.0
外来収益	125.5	132.2	6.7
<b>医業収益</b>	<b>424.0</b>	<b>446.9</b>	<b>22.9</b>
補助金等収益	78.0	11.3	▲66.7
運営費負担金収益	73.9	74.7	0.8
<b>営業収益</b>	<b>582.6</b>	<b>538.6</b>	<b>▲44.0</b>
給与費	229.6	234.2	4.6
材料費	138.5	145.2	6.7
減価償却費	47.7	47.1	▲0.6
経費	70.6	68.9	▲1.7
<b>医業費用</b>	<b>488.7</b>	<b>497.7</b>	<b>9.0</b>
<b>営業費用</b>	<b>489.9</b>	<b>499.0</b>	<b>9.1</b>
<b>医業損益</b>	<b>▲64.7</b>	<b>▲50.8</b>	<b>13.9</b>
<b>営業損益</b>	<b>92.6</b>	<b>39.6</b>	<b>▲53.0</b>
営業外損益	▲16.3	▲19.1	▲2.8
<b>経常損益</b>	<b>76.3</b>	<b>20.5</b>	<b>▲55.8</b>
<b>当期総損益</b>	<b>75.2</b>	<b>19.7</b>	<b>▲55.5</b>

#### 【収益面】

##### 医業収益

・新型コロナ患者の診療報酬の特例縮小等により診療単価が低下する一方で、患者数の回復により収益が増加

##### 補助金等収益

・新型コロナ関連補助金が4年度より減少（うち病床確保補助金10億円）

#### 【費用面】

##### 給与費（医業費用）

・医師、医療技術職員の増や処遇改善手当の支給開始により増加

##### 材料費（医業費用）

・患者数の増により増加

##### 経費（医業費用）

・契約単価の上昇による委託料の増加

・光熱費の単価低下や医療機器の修理の減による減少

### Ⅳ キャッシュフロー

(億円)

	期首残高	業務活動	投資活動	財務活動	期末残高	資金増加(▲減少)
4年度	194.1	115.7	▲24.9	▲42.5	242.4	48.3
5年度	242.4	88.2	▲25.6	▲37.3	267.7	25.3

### Ⅴ 主要指標

	総合医療センター			十三市民病院			住之江診療所		
	4年度	5年度	差引	4年度	5年度	差引	4年度	5年度	差引
入院患者数	267,375人	287,399人	20,024人	21,573人	28,608人	7,035人	-	-	-
(1日平均)	733人	785人	52人	59人	78人	19人	-	-	-
(病床稼働率)	82.8%	83.6%	0.8%	38.6%	39.6%	1.0%	-	-	-
入院診療単価	103,532円	100,693円	▲2,839円	74,499円	64,525円	▲9,974円	-	-	-
外来患者	458,198人	461,746人	3,548人	67,815人	73,820人	6,005人	4,841人	5,200人	359人
(1日平均)	1,886人	1,900人	14人	279人	304人	25人	20人	21人	1人
外来診療単価	25,471円	26,453円	982円	12,158円	12,920円	762円	10,948円	9,038円	▲1,910円
医業収支比率	88.8%	90.5%	1.7%	41.6%	49.3%	7.7%	50.3%	44.0%	▲6.3%
経常収支比率	110.5%	104.6%	▲5.9%	145.1%	100.0%	▲45.1%	93.7%	100.8%	7.1%
給与費比率	49.5%	48.6%	▲0.9%	130.5%	109.7%	▲20.8%	84.2%	92.4%	8.2%
材料費比率	33.1%	32.8%	▲0.3%	25.4%	27.8%	2.4%	17.4%	21.1%	3.7%
経費比率	14.3%	13.8%	▲0.5%	54.7%	40.1%	▲14.6%	78.4%	92.6%	14.2%